

メガソーラー誘致について

山田 裕一



【質問】メガソーラー

とは、読んで字のごとく、発電出力が1メガワットを超える大規模な太陽光発電所の総称で、東日本大震災後、電力会社・自治体・民間企業などにより全国各地に建設が進められている。そこで当市においても、誘致を後押しをするような積極的なアクションやオリジナル優遇制度などを検討してはいかがか。

【答弁】【市長】近年、

東北や北海道でもメガソーラー建設が進んでいる。また、県内でも建設計画があることを承知している。当市においても越河地内に建設が進んでおり、また、福岡長袋地内にも建設

予定地がある。メガソーラーの場合、一定規模の土地が必要であることから、未利用地や耕作放棄地などが考えられる。今後情報発信や資料の提供など、積極的な取り組みを継続していきたい。しかし現在、オリジナル優遇制度は考えていない。

【教員用パソコン整備について】

【質問】当市は、教員用パソコン整備が一向に進んでいない。現在、各学校からインターネット接続できるパソコンは、1、2台しかなく、事務処理や授業準備の調査、情報収集に支障をきたしていると言っても過言ではない。

仙南2市7町を調査したが、当市以外の1市7町全ての自治体の全小中学校に教員用パ

ソコンは整備されている。

先生方の仕事の効率化によって、これまで以上に子どもと向き合う時間が増える。その結果が教育環境の充実に直結すると考える。よって教員用パソコン整備を早急に行うことが必要と考えるがいかがか。

【答弁】【教育長】現在、

市内の小中学校に187台のパソコンを貸与しているが、そのうち139台は、震災復興支援等で得た中古の再生品である。この中古パソコンでは、ICT機器についての対応が非常に難しいことからパソコン整備の検討をしているが、議員からの意見もいただいたので今後、

財政当局と相談しながら、早い時期に整備できるよう考えていきたい。

【その他の質問】

○子宮頸がんワクチン予防接種の副反応について

生涯スポーツの振興について

佐久間 儀郎



【質問】心身の発達、

健康の維持・増進、そして地域活性化には大きな役割を果たすスポーツ活動を積極的に推進することが重要と考える。そこで以下を伺う。①振興策についての市長の所信②市内スポーツ人口の実態③スポーツをキーワードにした交流拠点都市形成の方向付け④「スポーツ振興計画」策定状況⑤体育協会を中心とするスポーツ団体、指導者の育成⑥「総合型地域スポーツクラブ」創設に向けた組織作り、その指導者育成状況、創設の年度計画

【答弁】【市長・教育

長】①高齢化の進展などもあって生活にスポーツを取り入れる重

要性は高い。体育協会、

スポーツ少年団との連携、活動強化のための助成等に努めて生涯スポーツの普及と推進を図っている。②すべてのスポーツ実施状況を把握していないが、スポーツ少年団員数、スポーツセンターの利用状況も増加傾向にあり、一定の活動は維持されている。③高原マラソン等の実績からみて交流人口の増、スポーツツーリズムからすれば大変重要。スポーツをキーワードにした交流拠点都市づくりも推進していきたい。④スポーツ基本法の全面改正があり、これをうけ従来のスポーツ振興計画の見直しを検討していきたい。⑤諸大会の運営に参加することで組織の運営強化を図って育成指導者の資質の向上を図っている。⑥地域の実情に合わせて組織

のあり方、運営の手法を検討しながら、年度内を目標に市内スポーツ関係団体との協議を踏まえて設立準備委員会を設置したい。

【行政情報のバックアップ体制について】

【質問】東日本大震災の教訓から多くの自治体では、住民基本台帳や税務など重要な情報のバックアップ体制整備を積極的に構築している。多くが自治体クラウドの活用で、本市も災害時の情報喪失を避ける手立てが必要であり、すでに同僚も指摘しているが、対応をどのように考えているか。

【答弁】【市長】行政情

報ネットワークシステム管理委員会の検討部会で各種システムを検討、視察も行っており、現行システムが契約満了する平成27年9月末日までに決定していきたい。

【その他の質問】

○児童生徒の体位・体格について
○中学校の運動部活動